

目標の共有を目指す，グランドデザイン作成の演習

マネジメント・プロジェクト中学校部会



最も重要となる学校のグランドデザインは，学校において学習指導を行う教職員全てが関わって作成することに意味がある。

高木 展郎

1. ねらい

架空の中学校の学校教育目標等を記した演習用グランドデザインシート（中学校版）を使って，グランドデザインの一部を作成する演習を行うことで，グランドデザイン作成のイメージをもつとともに，グランドデザインを複数の教職員で作成することの良さを体感する。

2. 準備物

- (1) 演習用グランドデザインシート（中学校版）・・・・・・・・付録1
※模造紙サイズに拡大し，各グループに一枚ずつ配付
- (2) 付箋紙
- (3) サインペン



3. 演習の手順（所要時間：45分）

- (1) 4人のグループを作る。（2分）
- (2) 演習用グランドデザインシートに書かれてある，架空の中学校の学校教育目標や，生徒の様子等をグループのメンバーがそれぞれ読む。（5分）
- (3) 架空の中学校の生徒の様子を踏まえて，目指す生徒の姿に近づけるために，生徒の発達をどのように支援するかを，個人で考え付箋紙に書く。（10分）
- (4) 個人で考えた支援方法を書いた付箋紙を，説明しながら拡大した演習用グランドデザインシートに貼る。（2分×4人）（8分）
- (5) 付箋紙に書かれた支援方法を内容ごとに分類し，支援の効果等をグループ内で吟味しながら，グループとしての支援の方向性を決定する。（10分）
- (6) 自分のグループを離れ，他のグループの考えた支援方法を見て回る。（5分）
- (7) 自分のグループに戻り，他のグループの考えた支援方法に関する情報交換をするとともに，演習を行った感想を述べ合う。（5分）

4. 実際に演習を行った感想

- グループ内で生徒への支援方法について話し合う中で、自然と教師間の支援方法に対する目線がそろっていくのを感じた。
- これまで、学校の経営方針は、4月に校長から示されることがほとんどであったが、今回自分たちで、ランドデザインの一部を作成してみて、より学校経営に深く参画しているという感覚を得た。実際にランドデザインを全教職員が関わって作成することになれば、学校経営を自分事として捉える教職員が増えるのではないかと思った。
- ランドデザインの作成に全教職員が関わることは、素晴らしい取組であると感じた。ただ、作成に関わる教職員が増えれば増えるほど、作成に膨大な時間がかかることや、校長の方針と校長以外の教職員の考えが一致しない場合どうするかなどのことが懸念される。



5. 実際のランドデザイン作成に向けて

本演習は、実際にランドデザインを全教職員が関わって作成するための足がかりとして位置づけたものである。実際にランドデザインを作成するに当たっては、複数の作成方法が考えられる。以下は、その例示である。

- 例1：枠組みだけが印刷されたランドデザインシートを全教職員に配付し、それぞれが全ての項目について自分の考えを記入する。その後、グループになり、グループとしての案をまとめる。グループの案がまとまったら、それをもとに全体の案をまとめ、それをもって学校のランドデザインとする。(メリット：全職員の考えが反映されやすい。デメリット：作成にかかる時間が長い。)
- 例2：ランドデザインの原案を、一部分を残して管理職やその他の担当者が作成し、意図的に作成しなかった部分について、全教職員で協議し、作成する。(メリット：全教職員が関わることの多い項目について、全教職員の考えを反映させることができる。また、作成時間の短縮を図ることができる。デメリット：教職員の考えがランドデザインの一部にしか反映されない。)
- 例3：項目ごとに担当を分けて作成する。その後、作成したものを持ち寄り、内容のすり合わせをした上で、完成させる。(メリット：作成時間の短縮が図られる。デメリット：教職員の考えがランドデザインの一部にしか反映されない。)

以上、3つの例を紹介したが、それぞれメリットとデメリットがあり、一概にどの方法が最適であると言うことはできない。しかし、いずれの方法をとっても、教職員の考えが少なからず、学校経営に反映されることは確かである。教職員の考えが学校経営に反映されることは、教職員の学校経営参画へのモチベーションの高揚につながるものであり、そのことが学校における教育活動の効果をさらに高めていくものと思われる。



【あおいもり中学校のグランドデザイン】

